



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル  
コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

(氏名) 保木 潤一

(氏名) 大橋 進

配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300

平成26年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,237	1.1	4,075	△5.7	4,227	△5.4	2,792	△0.4
26年3月期第2四半期	17,057	4.5	4,320	6.9	4,468	10.4	2,802	11.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 3,271百万円 (△13.5%) 26年3月期第2四半期 3,781百万円 (44.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	177.56	—
26年3月期第2四半期	178.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	87,237	77,784	77,784	77,784	89.2	4,944.92
26年3月期	90,411	75,379	75,379	75,379	83.4	4,791.96

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 77,778百万円 26年3月期 75,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	27.00	27.00	27.00	27.00	108.00
27年3月期	28.00	28.00			
27年3月期(予想)			28.00	28.00	112.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,870	3.1	8,880	1.5	9,070	0.2	5,940	5.5	377.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	16,341,155 株	26年3月期	16,341,155 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	612,168 株	26年3月期	612,011 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	15,729,102 株	26年3月期2Q	15,729,414 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や、急激な円安の影響などにより先行きが不透明な状況が続いております。

医療行政におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて診療報酬改定が実施され、医療機関に対しては機能分化を強化した医療制度改革を進めております。

当医療機器業界における経営環境は、この政策の実施に伴い医療機関の二極化が促進され、大きく変化する医療環境に対応するため経営の合理化がより求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化とキット製品の販売拡大に注力してまいりました。

「オペラマスター」の契約状況は、医療機関の経営改善に対する提案を強化し、「オペラマスター」への理解の促進を図った結果、キット製品未採用の医療機関を中心に新規契約18件を獲得いたしました。一方、解約は2件で、累計契約件数は224件となりました。また、手術室運営の効率化と医療機関の経営改善に貢献する「手術管理システム」の販売強化に取り組んできた結果、新規採用が決定し医療機関への導入を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、厳しい市場環境の中で17,237百万円（前年同期比1.1%増）と予想を下回る結果となりました。キット製品は「オペラマスター」が成長の牽引役として売上を伸ばしましたが、手術件数増加が鈍化した影響や、契約医療機関におけるキット製品販売の立上げが一部下期にずれたこともあり、キット製品の売上高は、9,176百万円（同4.5%増）に留まりました。不織布製品の売上高は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からは回復しましたが5,012百万円（同2.9%減）となりました。

売上原価は、円安の影響により原価率が上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、人件費及び営業に関わる費用が増加したことにより前年より増加いたしました。この結果、営業利益は4,075百万円（同5.7%減）となりました。営業外損益におきましては、受取配当金や為替差益等を計上し、経常利益は4,227百万円（同5.4%減）となりました。特別損益におきましては、固定資産売却益等を計上し、復興特別法人税廃止による法人税軽減もあり、四半期純利益は2,792百万円（同0.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は87,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,173百万円減少いたしました。流動資産は43,715百万円となり、3,715百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少4,171百万円、受取手形及び売掛金の増加522百万円となります。固定資産は43,522百万円となり542百万円増加いたしました。うち有形固定資産は32,438百万円となり511百万円減少いたしました。無形固定資産は1,987百万円となり172百万円増加いたしました。投資その他の資産は9,096百万円となり、投資有価証券の取得と時価評価等により881百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は9,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,578百万円減少いたしました。流動負債は7,338百万円となり5,891百万円減少いたしました。主な要因は新キット工場建築の支払等に伴う未払金の減少5,190百万円となります。固定負債は2,114百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は77,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,405百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益2,792百万円の計上による増加、剰余金の配当による865百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.4%から89.2%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより24,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,175百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 4,268 百万円、減価償却費を 1,291 百万円計上し、売上債権の増加 545 百万円、たな卸資産の減少 241 百万円、仕入債務の減少 519 百万円、法人税等の支払 1,975 百万円がありました。この結果、キャッシュ・フローは 2,577 百万円となり、前年同期に比べ 1,340 百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に新キット工場建築による有形固定資産の取得等により 5,821 百万円の支出となり、前年同期に比べ 4,821 百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、865 百万円の支出となり、前年同期に比べ 30 百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約 8,700 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場建築と機械設備の費用等として約 9,800 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約 1,750 百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の医療環境は、医療制度改革により大きく変化しつつあり、医療機関においては経営改善への取組みがより一層進んでいくと予想されます。

当企業集団におきましては、厳しい市場環境及び契約医療機関におけるキット製品販売の立上げの遅れにより上期業績が予想を下回りましたが、引き続き重点戦略である「オペラマスター」の成長を加速させ、業績の回復に努めてまいります。

具体的には、「オペラマスター」新規契約の更なる増加と契約医療機関に人材を集中し、キット製品販売の早期立上げ及びキット製品の内容充実により販売拡大を推進してまいります。

また、顧客のメリットを最大限に追求したキット製品を実現するために、新キット工場建設と内製化及びキット製品のリニューアル戦略を進めてまいります。

新たな研究開発のテーマである「低侵襲」分野の新製品「内視鏡操作システム」につきましては、現在、開発元と共同で学会展示及び顧客による試作機の評価を行っております。顧客からの評価も概ね好評であり、最終仕様を確定させて年度内に上市する予定です。

連結業績予想につきましては、「オペラマスター」はさらなる成長を見込んでおりますが、上期の実績を勘案し、通期売上高を見直しました。また、急激な円安等による原価への影響が予測されるため、通期利益についても見直しますが、さらに効率的な経費の使用を徹底してまいります。

以上の結果、平成 26 年 4 月 10 日発表の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成 27 年 3 月期の通期連結業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,950	9,290	9,410	6,150	390 99
今回発表予想 (B)	35,870	8,880	9,070	5,940	377 65
増減額 (B-A)	△1,080	△410	△340	△210	—
増減率 (%)	△2.9%	△4.4%	△3.6%	△3.4%	—
前期実績	34,793	8,747	9,055	5,632	358 10

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
法人税等の計上基準  
法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,595	24,424
受取手形及び売掛金	10,191	10,713
商品及び製品	3,845	3,795
仕掛品	429	424
原材料及び貯蔵品	3,485	3,211
その他	892	1,151
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	47,431	43,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,612	11,284
機械装置及び運搬具(純額)	4,808	4,442
土地	9,484	9,447
建設仮勘定	6,551	6,664
その他(純額)	492	600
有形固定資産合計	32,949	32,438
無形固定資産	1,814	1,987
投資その他の資産	8,215	9,096
固定資産合計	42,979	43,522
資産合計	90,411	87,237
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,598	4,053
未払法人税等	1,914	1,424
引当金	489	541
その他	6,227	1,319
流動負債合計	13,230	7,338
固定負債		
退職給付に係る負債	210	162
その他	1,590	1,952
固定負債合計	1,801	2,114
負債合計	15,031	9,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	60,422	62,350
自己株式	△3,321	△3,322
株主資本合計	72,560	74,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,297	2,892
繰延ヘッジ損益	529	709
為替換算調整勘定	27	△271
退職給付に係る調整累計額	△41	△38
その他の包括利益累計額合計	2,813	3,291
少数株主持分	6	6
純資産合計	75,379	77,784
負債純資産合計	90,411	87,237



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,057	17,237
売上原価	8,386	8,703
売上総利益	8,670	8,533
販売費及び一般管理費	4,350	4,457
営業利益	4,320	4,075
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	43	47
為替差益	39	45
助成金収入	—	46
その他	66	21
営業外収益合計	151	163
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	10
その他	2	1
営業外費用合計	3	11
経常利益	4,468	4,227
特別利益		
固定資産売却益	0	47
特別利益合計	0	47
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	0	5
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	4,468	4,268
法人税等	1,665	1,475
少数株主損益調整前四半期純利益	2,803	2,792
少数株主利益	0	0
四半期純利益	2,802	2,792

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,803	2,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	594
繰延ヘッジ損益	31	180
為替換算調整勘定	632	△299
退職給付に係る調整額	—	2
その他の包括利益合計	978	478
四半期包括利益	3,781	3,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,781	3,271
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,468	4,268
減価償却費	1,394	1,291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△4
受取利息及び受取配当金	△46	△50
投資事業組合運用損益 (△は益)	1	10
為替差損益 (△は益)	△39	△59
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△46
売上債権の増減額 (△は増加)	117	△545
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△93	241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△577	△519
その他	7	△85
小計	5,221	4,502
利息及び配当金の受取額	46	50
法人税等の支払額	△1,349	△1,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,917	2,577
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△861	△5,491
有形固定資産の売却による収入	2	91
投資有価証券の取得による支出	—	△16
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	6	4
その他	△146	△409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△999	△5,821
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△832	△864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△834	△865
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	△65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,241	△4,175
現金及び現金同等物の期首残高	22,105	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,346	24,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。